

政新会

行政視察報告書

◇大仙市

【秋田太田グランド・ゴルフ場について】

□令和1年7月3日（水） 13:00~16:30

□奥羽グランドゴルフ場

【視察目的】

高齢者に人気のあるグランドゴルフは土浦でも競技人口は増えています。これからの土浦でのグランドゴルフ場の整備や運営方法を、グランドゴルフを平成元年から力を入れて運営している、大仙市での取り組みを伺うための視察でした。

【視察内容】

- 1 グランドゴルフ場開設
- 2 施設・規模
- 3 運営・整備等
- 4 予算・整備費用等
- 5 今後の見通し

【質疑応答】

Q 宿泊施設はどのくらいあるのか。

A ここ奥羽山荘グランドゴルフ場は数十人程度。この近辺にある宿泊施設を利用してもらっている。

Q いつ頃からグランドゴルフ場を整備したのか。

A 20数年前から。当初はゲートボールと平行で運営していた。

Q グランドゴルフ場を大々的に整備することに対し、反対はなかったのか。

A ふるさと創生交付金（7億円）で作ったので、地元から反対はなかった。

Q 芝生管理の費用はどのくらいか。

A 4月～11月までの期間（冬季は雪のためプレイができないため）

・人件費 1,000万円

・薬剤・殺虫剤費（1㎡/200円） 1,200万円

政新会

行政視察報告書

◇八戸市

【議会タブレット導入について】

□令和1年7月4日（木） 9:30～11:30

□八戸市役所

【視察目的】

土浦市議会で検討されている議員へのタブレット配布について、導入を実施した八戸市議会での状況を勉強するための視察でした。

【視察内容】

- 1 会議における使用
- 2 条法と議会事務局間との情報の送受信
- 3 市議会・八戸市等の情報閲覧
- 4 情報収集における使用
- 5 会議で使用する場合の注意事項等

【質疑応答】

Q 導入を決定するにあたり、年配の議員の抵抗はなかったか。

A 操作等に関して不安はあったようだが、決定してからは前向きに取り組んでくれた。導入後、わからないことがあったら、個人的に聞きにくるという対応だけですんだ。

Q 議会書類のうち、タブレットで送付する書類はどの範囲か。

A 図面や紙資料が合っているものは、紙でも配布している。

Q デメリットはどのようなものがあるか。

A 紙書類にはペンで速やかにメモすることができるが、タブレットでは容易ではない。最近は市販の電子ペンがでており、それで大分対応が可能になってきている。

政新会

行政視察報告書

◇青森市

【放課後児童会について】

- 令和1年7月5日（金） 9:30~11:00
- 青森市役所、小柳放課後児童会にて

【視察目的】

放課後児童会に関して、積極的に取り組んでいる青森市の取り組み内容、推移などを勉強してきました。

【視察内容】

- 1 放課後児童会のこれまでの取り組み
- 2 放課後児童会の状況
- 3 放課後児童会の課題
- 4 課題への対応
- 5 調査事項への回答

【質疑応答】

Q 運営にあたり、苦勞が多いのはどのようなことか。

A. 人間関係による問題が多い。支援員同士や保護者の方との意見の相違など。

Q 事業費はどのような状況か。

A. 事業費を国、県、市、利用者で負担している。負担金は月額 3,200 円。民間委託も検討している。

視察報告書

政新会 寺内 充

1. 大仙市の奥羽グランドゴルフ場の運営について

日本グランド・ゴルフ協会公認として日本一の広さを誇り、起伏に富んだコースが評判を呼んでいて今では二千人が集まる全国大会まで開催され周辺に恩恵を与えている。

2. 八戸の議会タブレット導入について

タブレット導入前までは、FAX等で通信していたが導入後は議員が何処にいても連絡が取れて便利になったそうです。又書類のコピー代や通信費の節約になったそうです。早く土浦議会にも導入したいと思っています。

3. 青森市の放課後児童会について

青森市でも土浦市と同じように支援員間のわだかまりがあり苦労している。支援員の方の仕事場の現状を整えていくべきだと思います。

行政視察報告書

政新会 吉田 博史

◆秋田県大仙市 奥羽グラウンドゴルフ場の運営について

奥羽グラウンドゴルフ場は、単独の整備ではなく、面積が東京ドーム4個分の奥羽山荘周辺 Mori no Sato 整備事業の一部として約4億円をかけ整備したものです。

壮大な自然がおりなす四季折々のステージが様々な顔を映しており、奥羽山荘（宿泊施設）を中心に、サイクリングロードやバーベキューハウスなど総面積8.7haの中には、余裕のある施設配置が整っておりました。

日本一のグラウンドゴルフ場は、4コース（96ホール）が整備されており、毎年全国大会や東北大会が開催される地として有名です、との事でした。

一年間にグラウンドゴルフ場の利用者が25,000人程あり、大仙市にとってもPR効果が大きいと担当者の説明があり、今後は宿泊者のさらなる確保が重要だともお話をされていました。

◆青森県八戸市 議会タブレット端末導入について

現在、土浦市議会議会運営委員会においてもペーパーレス化を目的としたタブレット導入の議論がされている最中です。

会派としても先進地を視察することで導入の是非をもっと深く議論しようとしている所です。

八戸市においては、ペーパーレス化は元より、議員への情報伝達の迅速化やインターネット活用による政務調査活動の充実を図るため、タブレット端末を導入しておりました。

ボリュームがある予算書や決算書類は従来の紙ベースで作成していますが、本会議や各種委員会などは用紙削減がされているとの事ですが、タブレットでは会議資料に速やかにメモする事が容易ではなく、また資料の比較も面倒であるとのデメリットの説明もありました。

今後の課題としては、ペーパーレス化対象会議の拡大や資料の拡大そして会議システムの改善があるとの事でした。常に進化しているIT化に議会としてどう対応していくか考えさせられた視察でした。

◆青森県青森市 放課後児童会について

H27年に国からの通達で対象児童の拡大が行われ、小学1年生～3年生対象が6年生までと大きく拡大された事に伴い、予算の拡充や開設所の拡大、そして支援員の確保と大きな転換が行われました。土浦市においても、国からの補助金があるとはいえ、大変大きな事業の1つとなっております。青森市では市内児童数の約25%が入会児童数となっており、需要の多さに驚きを感じました。市内の児童数は減少しているのに入会希望者は増加の一途をたどっているとの事で、青森市に限らず全国的な傾向だろうと感じた次第です。

今後の課題としては、増加する入会児童数に対応した開設場所の確保と支援員の確保、そして増大する事業費への対応と民間委託への検討だとお話をされておりました。同感であります！！

行政視察報告書

政新会 柳澤明

大仙市 奥羽グラウンドゴルフ場の運営について

私自身も前期高齢者となって早 3 年が過ぎ、そろそろ介護予防という言葉が他人事と言ってはられない年代になってきた。

高齢者にとっては適度な運動と外出、人付き合いが介護予防に直結することは言を俟たないが、当人の価値観や生活習慣などから、分かっているにもかかわらず生活習慣を変えられない、という人が多いのではないだろうか。

高齢者向けのスポーツは色々あるが、一昔前にはゲートボール、近年はグラウンドゴルフが人気を呼んでいるようだ。

私も 5 年ほど前から月に 1 回程度、80 人ほど参加するグラウンドゴルフ会のお付き合いをしているが、亡くなった方数人を除いて 5 年前と今とでも、その顔ぶれが殆ど変わらないという事に驚いている。

これは、適度な運動が高齢者の健康維持に繋がる、ということの表れだろうと考えている。

今回の視察先である奥羽グラウンドゴルフ場は、全国的にもその規模や設備の充実度から愛好者の間では有名な所らしい。毎年 2 泊 3 日で 2,000 人規模の全国大会を開催しているというほど、運営もしっかりしているので、その経済効果も含めて一度見てきたら、と土浦の役員さんに言われて訪れたものである。ちなみに、大会開催時の大曲や角館のホテルは満員だそうである。

確かに全面芝生張りのコート 6.6ha・96 ホールはその手入れも見事なもので、愛好者にとって温泉付きのこの場所下プレーするのは憧れの的、といっても過言ではないだろう。

土浦市でも水郷運動公園で年に 6 回ほど、500 人規模の大会を開催しているが、デコボコの芝生やトイレ不足、水はけの悪さなど、他所から大勢呼んで大会を開くのが恥ずかしいと役員の多くが語っている。また、大会時には時計がないと不便するという事で、これも役員からの要望により、土浦環ライオンズクラブにお願いをして、今年の 4 月に寄付してもらったところである。

大仙市のように、専用グラウンドを整備するのは無理だとしても、せめて芝生の管理くらいは行政がもう少し力を入れるべきである。また、日常は各町内会の狭い公園でプレーをするケースが多いようだが、そのすべてが土の上でのプレーになる。せめて野芝くらいは張れないものだろうか。

八戸市 タブレット端末導入について

平成 24 年に飯能市、25 年に霧島市でタブレット導入についての視察を行い、今回の八戸市で 3 回目の視察になる。

議会関係で配布される紙の資料は、その保存や処分などでどなたも苦勞されているのではないだろうか。また、一旦しまい込んでしまうと、いざという時になかなか見つからなくて、事務局に再発行してもらうなんてことは日常茶飯事である。

そんな無駄な労力を省くためにも、このタブレット化は非常に有効だろうと思い、議運で何度か話したこともあるが、未だにその機運が盛り上がらないのはなぜだろう。

いずれの議会でもベテラン議員がなかなか乗ってこなかったという話を聞いているが、土浦市もしかりである。しかし、4 月の改選以降は比較的若返ったこともあって、今期中には何とか導入に漕ぎつけられればと考えている。

青森市 放課後児童会の運営について

土浦市には現在 17 カ所の放課後児童クラブがある。今まではそれぞれが円滑に運営されているものと考えていたが、2 月ほど前に指導員の女性 4 名から相談を受けて、必ずしもそうではないことが分かった。

青森市では 56 施設、3,169 人の児童に対して 282 人の指導員の方々が、毎日面倒を見ているということである。17 施設でも問題が発生しているのだから、青森市の実態は、指導員の管理はどのようにしているのだろう、というところが今回の視察項目に取り入れた主な理由である。

質問の中でこの件を訪ねたところ、やはり同じような問題はあるようで、施設の数だけ市の担当職員の苦勞も多いという答えに、なぜかホッとする気がした。

土浦だけが問題を抱えているとしたら大ごとだが、やはり何処も同じ・・・だからいいというわけにはいかないが、問題は雇用形態と行政の管理体制にあるのではなかろうか。

土浦市の場合、行政直営が 12 ヶ所、民間委託が 5 ヶ所で、民間のほうではトラブルはあまり無いらしい。直営の場合、指導員の全部が臨時職員で同列という雇用形態、しかもほとんどが女性ばかりの職場であれば、多少のトラブルは致し方のないところだが、子供たちにその影響が及ばないかという心配がある。

民間ではそんなトラブルは殆ど無いということから、早急に民間委託に切り替えることを検討するべきである。

ハ戸市タブレット端末導入について

鈴木 一房

本市において、5年以上前から導入についての検討がなされてきたが、いまだに導入になっていないのが、タブレット端末の導入である。利点として①ペーパーレス化 ②議員への情報伝達の迅速化 ③インターネット利用による政務調査の充実が挙げられるが、いっそうに議論が進んでいない。ハ戸市を始めとする先進自治体の議会は多数あり、各議員も使いこなしており、導入当初に必ず心配される年配議員についても、殆んど使いこなしている。タブレット端末の使用基準も、導入後数年経過している議会では、改正がなされており、現時点での本市への導入についても、何ら問題とすることは無い。習うより慣れろで、早急に本市議会でも導入すべきである。

青森市放課後児童会の概要について

鈴木 一彦

小柳小学校の改築に伴い、学校敷地内1Fに「地域連携スペース」として、2Fに「放課後児童会」を開設。

青森市の放課後児童会は、公設公営5ヶ所、公設民営3ヶ所で運営されている。入会児童数は、全児童数の24.4%である。

課題は本市同様、支援員の確保であり、年々増加する事業費への対応と運営の効率化を目的として、民間委託の検討を始めている。

今回は「地域連携スペース」が学校敷地内に併設され、放課後児童会との密な連携があることを期待していたが、どの市でも同様であるように、支援員の考え方もあり、期待される程の連携には至っていない。

本市においても、学童クラブの運営の課題を克服するためには、地域のカが必要と思われているが、現在の所、有効な解決策は見当たらない。

秋田太田奥羽グラウンドゴルフ場について 鈴木一孝

奥羽山荘もり木の里の西側に80haの、日本グラウンドゴルフ協会公認の日本一の広さのコースがある。かつての馬立場であり、その昔、川口鉱山の事業所や、選鉱作業場があった。その後、当時の太田町が取得している。

太田町が、平成5〜7年度までの3ヶ年で整備し、平成17年3月に8市町市の合併により大仙市となった。

本市でも、グラウンドゴルフの愛好者日増加中、水郷公園等でも、地域の大会が開催されている。

本市に、同規模のグラウンドゴルフ場を整備する場合、10ha近い土地の取得をしなければならぬ。水郷公園の活用、常呂運動公園用地の活用、新沼運動公園の拡張など、様々なケースを想定し、検討していくことになるであろう。

行政視察報告書

政新会 今野 貴子

◆大仙市 奥羽グランドゴルフ場の運営について

高齢者に人気のスポーツといえば、少し前まではゲートボールだったが、今ではすっかりグランドゴルフに取って代わられている。土浦でも人気はグランドゴルフに移行しており、各町内でも盛んに行われているようである。

奥羽グランドゴルフ場は、規模・設備・整備ともに全国でもトップクラスの施設である。

最初にその広さに圧倒される。山裾に広がる平原一面に芝が敷き詰められ、山並の新緑と芝の緑がとても美しい。コースのところどころに、木立や東屋があり涼をとれるような気遣いもある。全国大会も開催されるこの施設は、運営もしっかりしている。

全国規模の大会を土浦でも開催するという事は現実的ではないが、各施設の管理方法、芝等の整備方法など、土浦でも適応できるもののお話をたくさんお聞きすることができた。

最後に担当の方が「グランドゴルフ人口は年々、減少している」という言葉が、これからのグランドゴルフ場運営の大きな指針を示していたのが印象的でした。

◆八戸市 タブレット端末導入について

土浦市議会でもタブレット端末導入を検討した時期があったが、機運が盛り上がりずに、まだ導入に至っていない。議会で配布される書類・資料は膨大な量になり、携帯や保管にかなり苦勞する。配布の煩雑さや印刷費などの費用も結構な額になる。これがタブレット端末にすることにより、大部分が軽減される。タブレット端末のマイナス点は書き込みが紙に比べて簡単ではないこと。それも最近は電子ペンという機器により、かなり改善されているとのこと。

土浦市議会でも早めの導入を推進していきたい。

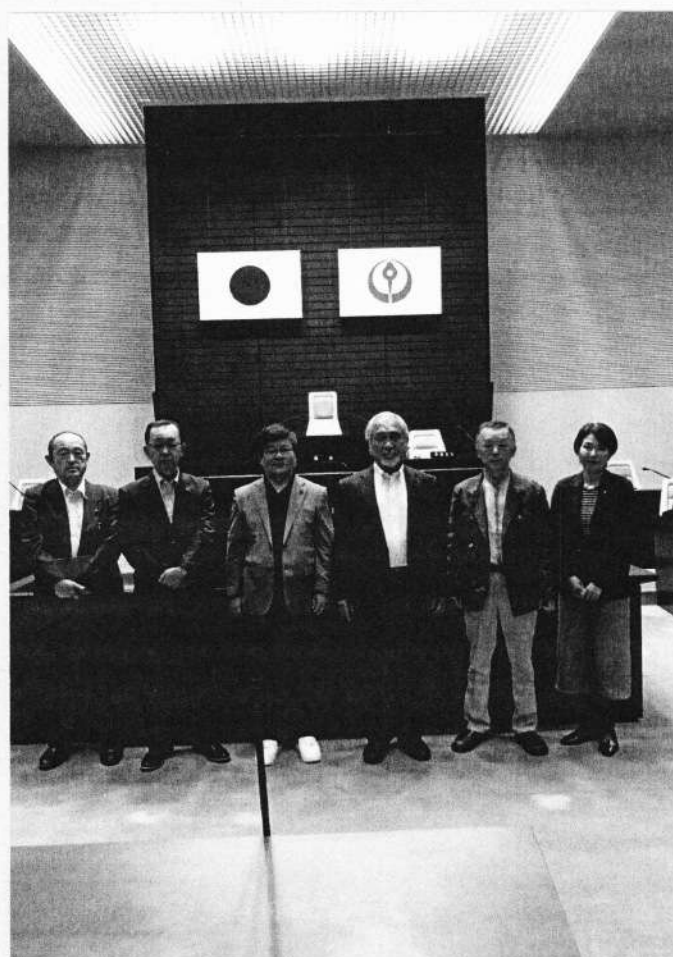
◆青森市 放課後児童会について

青森市の放課後児童会は昭和42年に1ヶ所からスタートして、現在は56ヶ所で運営している。青森市の人口は28万人に対し、土浦は14万人で施設は17ヶ所である。児童会運営の一番難しいところは、児童への対応と指導員間の人間関係のトラブルである。56施設のそういった問題をどのように対応しているかの質問をしたところ、やはり人間関係に関してはマニュアル等はなく、きめ細かく担当者が話を聞いて対応するとのこと。人間関係の問題はきめ細かな対応でしか解決できない、ということを感じました。

秋田県 大仙市



青森県八戸市



青森県青森市

